

共助資本主義の実現委員会

「共助資本主義の実現に向けた大学連合」スタート

経済同友会は2月17日、共助資本主義の実現委員会と連携する「共助資本主義の実現に向けた大学連合」設立総会を開催した。参画する13大学の他、インパクトスタートアップ協会、新公益連盟が出席した。総会後の記者会見では、高島宏平副代表幹事と共同発起人である藤井輝夫東京大学総長、曄道佳明上智大学長らが活動の目的と展望を語った。



メッセージ

藤井 輝夫

共助資本主義の実現委員会
副委員長
東京大学 総長



いま、私たちが生きている世界には、気候変動、自然災害、生物多様性の損失、国際紛争、飢餓、貧困、格差など、さまざまな課題が山積しています。今まで人類は、物質的・経済的發展を追求して活動してきましたが、これだけでは人類のさらなる繁栄や幸福が実現できないことに気付かざるを得ない状況となりました。

一方で、最近では、自分たちの手で社会をより良い場所にしたい、と考える学生が増えてきていると感じます。目の前にある地球規模の課題に対し、見て見ぬふりをして背を向けるのではなく、それに果敢に取り組みたいと考える学生たちを応援するため、東京大学ではさまざまなプログラムや機会を提供しています。一方で、このような取り組みは東京大学に限らずさまざまな大学で行われているはずで、志を同じくする大学同士で共に活動することで、学生や研究者たちがより幅広い体験や交流機会を得ることができると考えました。「共助資本主義の実現に向けた大学連合」は、このような発想から始まりました。

「大学連合」は、国公立・私立の枠組みを超えて、多様な機会を提供すること

を通じて共助人材を育成し、産業界やNPOなどさまざまな業界と積極的に連携しながら、社会課題解決に向けた具体的なプロジェクトを進めていくことを目指します。さらに、研究機関として社会的インパクトの評価研究を実施するなど、さまざまなアプローチを通じて、共助資本主義の実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。大学連合の取り組みによって、誰もが生きやすい、より良い社会が実現することを願ってやみません。

■大学連合の目的

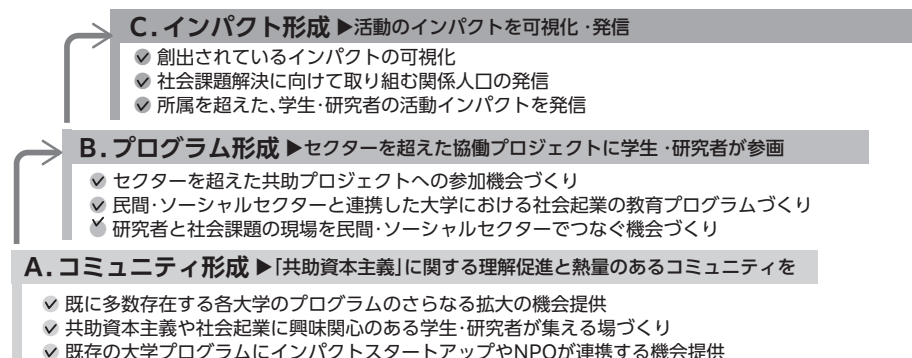
社会課題先進国ともいえる日本において、地域・分野を問わず、大学ならびに研究機関で学問を追究する学生および研究者に対し、共助人材として産学官民の垣根を越え、複雑化する社会課題の解決を実現する新たな担い手としての交流・学修・創発・実践の機会を提供。

■予定している取り組み

①教育プログラムの設立

連合参加大学の学生が所属大学を問

●大学連合の段階的展開



わず、参加可能な社会課題解決関連のプログラム設立〈上智大学〉

②学部生の社会起業支援プログラム

公益財団法人Soilと連携した「Soil × 大学連合」の学部生向け社会起業支援アクセラレーターの実施

③大学のソーシャルセクター連携

各大学の既存プログラムにおける、インパクトスタートアップやNPOの代表の紹介・連携

④震災復興ボランティア

能登の震災後にボランティア活動をしている学生間の連携強化と、地域との継続的な連携につながる活動

⑤社会課題解決型インターンシップ

企業における社会課題解決型のインターンシップを、大学連合所属大学の学生向けに広く周知・案内

■設立時参画大学(受付順)

東京大学／上智大学／東京外国語大学／中央大学／関西大学／法政大学／東北大学／立命館大学／早稲田大学／立教大学／東京科学大学／大阪大学／帝京大学